校報
雪椿
令和２年４月２６日
No.　２４７
福島県立只見高等学校
住所　南会津郡只見町大字只見
字根岸 2358
電話　0241-82-2148

只見高校学校長より

この春の人事異動により、安積黎明高等学校から校長として赴任いたしました伊藤勝宏と申します。よろしくお願いいたします。

さて本校は、１０名の山村教育留学生を含む新入生２７名を迎え、全校生９７名で令和２年度の新たなスタートを切りました。只見高校は会津西部の山間地にあり、本校の教育活動を表わすスローガンには「小さな学校の大きな可能性」への挑戦という言葉があります。教職員が生徒一人ひとりに向き合い、小さな学校だからこそできる学習の個別指導をはじめ、生徒と教職員が手を携えて活動する部活動や探究活動により、生徒の個性を伸長して希望する進路の実現へとつなげて参ります。

現在は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対応のため、通常の教育活動が十分にできない状況にありますが、それでも生徒たちは、学校に通うことができる喜びに満ちて登校しています。「当たり前のことが当たり前にできることは幸せなことである。」ということに、この試練は気づかせてくれました。試練を乗り越えることは簡単にできることではありませんが、試練を乗り越えられたとき人は大きく成長します。この困難な状況に臆することなく、行うべきことは果敢に実践し、真摯に対応する。今後も、生徒と教職員が安全かつ安心して生活ができ、互いに成長できる只見高校を作って参ります。

（只見高等学校長　伊藤 勝宏）

令和２年度入学式

４月８日（水）に令和２年度入学式が挙行されました。本年度は男子２１名、女子６名、計２７名の新入生を迎えました。

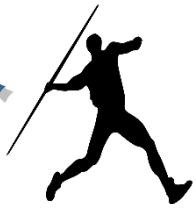
新型コロナウイルス拡大防止の観点から式の規模を縮小しての開催となりましたが、ご来賓の方々にも新入生の新たな出発を祝っていただきました。

「誓いの言葉」より抜粋　新入生代表　渡部 茉子

…新しい友人との出会いや、今までとは違う環境に、これから始まる高校生活への期待や希望に胸を膨らませております。しかし、「中学校」という場所とは違う慣れない環境に、不安な気持ちになることも多いと思います。

そんな時は友人と支え合い、先輩方や先生方の力もお借りしながら乗り越えていきます。また、苦手なことに対して消極的にならず何事にも一生懸命取り組んでいきたいです。

対面式・部活動紹介



４月９日（木）に、対面式・部活動紹介が行われました。今年は新型コロナウイルス感染防止のため、放送によって行われました。始めに生徒会長の堀金楓樺さんをはじめ，今年度の生徒会の自己紹介がありました。その後、各部活動や愛好会の紹介がありました。新入生獲得のために、部の目標や普段の活動状況など、それぞれ工夫をした紹介を行い、新入生たちはどの部活に入ろうか悩みながら放送に耳を傾けているようでした。

部活動紹介の後は、新入生代表の浅野礼さんから挨拶がありました。新入生の入部によって、部活動・愛好会の活動がより一層活発になることを期待しています。

新入生オリエンテーション

４月１０日（金）、１３日（月）には、新入生オリエンテーションが行われました。教務部長、生徒指導部長、進路指導部長の先生方から、高校生としての心構えや学校生活での決まり、進路選択についてなどの説明がありました。また、図書館ガイダンスや施設案内を通して、これから始まる高校生活をイメージしているようでした。新入生の皆さんは、緊張しながらも２日間真剣に取り組んでいました。これから共に成長する仲間たちと三年間仲良く学校生活を送れるといいですね。

<オリエンテーションのようす>

離任者より

佐竹　正徳　校長　　磐城桜が丘高校

２年間、お世話になり誠にありがとうございました。至らない点多々あったと思いますが、学校・生徒の活動に対して、ご理解・ご支援をいただきましたことを深く御礼申し上げます。一昨年の春、引継ぎ時のグラウンドの積雪、元気な挨拶とそれぞれの持ち分を発揮し頑張った只見高校生の姿、町の方々からいただいた言葉、溢れるバイタリティで仕事に励んでくれた教職員の方々、そして四季折々の輝く風景、すべて忘れえない思い出です。只見高校の「小さな学校の大きな可能性」への挑戦が続いていくことを祈念しております。

氏田　融　教頭　　須賀川高校

私は「奥会津学習センター」に寄宿させていただいたわけですが、せっかく縁あって自然豊かな只見に赴任したのだから、何か新しいことを始めようと思いを巡らせた結果、毎朝３０分程度の散歩を日課とすることにしました。毎朝５時頃、只見川沿いを散策するのですが、春から夏、夏から秋にかけての寒暖の差が大きい季節は水面に水蒸気が立ち込め、水墨画を想わせる何とも幻想的な風景が広がります。もちろん一人占めの世界です。この神秘的な空間を体験すると厭世観から解放され、新たな活力を得られたものでした。

単身赴任の３年間、健康を害することなく無事職務を全うできたのも、この悠久の只見川と何よりも只見町の多くの方々の温かいご支援のおかげだと感謝しております。本当にありがとうございました。

小野塚　茂夫　教諭　　磐城高校

このたびの定期人事異動で磐城高等学校に転出することになりました。在職中は只見町からの強力なサポートや保護者の皆様の御理解に恵まれ、また、吉井先生をはじめ、各年度の副担任の先生方の支えもあり、学年主任の仕事を全うすることができたことに感謝しております。新年度からは毛色のやや異なる学校での勤務となりますが、只見での貴重な経験を生かして今後も教育活動に邁進してまいります。３年間大変お世話になりました。

吉井　一真　教諭　　磐城桜が丘高校

この度、磐城桜が丘高校に転勤いたしました。いわきの街ですれ違う人に挨拶をしていないことに違和感を感じた時に、只見町で過ごした４年間が私にとって本当に良い時間だったのだと考えさせられます。わらび取り、蛍、カメムシ、温泉、薪割り、雪像作り、早起き野球、夜ソフト、駅伝大会、Ｒ289 横断など、学校以外の様々な所でも只見町の方々にはお世話になりました。数々の貴重な経験をさせて頂いた事は私の財産です。もちろん、学校での活動に沢山の支援をして頂いたことにも本当に感謝しています。

只見町からは離れてしまいますが、これからは只見町の良さを多くの人に伝えていければと思っています。そして必ず只見町に遊びにきますので、その時はまた声をかけてください。４年間本当にありがとうございました。

掛川　真宏　実習講師　　白河旭高校

２ 年間という短い間でしたが大変お世話になりました。授業で関わることは少なかったのですが、毎日誰かしらが話しかけてくれることもあり、とても楽しく過ごすことができました。実際いたのは２年間という短い期間でしたが、町民の方々や生徒との思い出がたくさんあり、今までで１番濃く楽しい２年間を過ごせたと思っています。また、事あるごとに只見町に遊びに行きたいと思いますので、その時はよろしくお願いします。皆さんの活躍を白河の地から願っています。

長谷川　こづえ　常勤講師　　ご退職

長い間お世話になりました。只見高校に新採用になっていつの間にか３０数余年、定年もここ只見町で迎えるとは思ってもいませんでした。只見高校で関わった生徒たちも 1000 人になるのではないかと思います。只見町内でも若松市内でも郡山に行っても声をかけてくれる卒業生が沢山いて感激の極みです。

親子で教え子だったり、お子さんを連れたお父さん、お母さんだったり、自分がたくさんの孫たちのおばあちゃんになれたようでうれしいです。いつでも声をかけてください。

佐藤　研太　主事　　会津保健福祉事務所

４月１日付で会津保健福祉事務所に転任することになりました。３年間という短い間でしたが、大変お世話になりました。３年前の４月に家族で引っ越してきて、最初の年は、７月は大雨・11 月からは大雪で、

「とんでもないところに来てしまった。家族で来たのは失敗だったか。」

と思いました。

しかし、職場の皆さんや暖かく声をかけていただいた町の方々のおかげで、今では、家族で引っ越してきてよかったと思っております。

本当にお世話になりました。

着任者よりごあいさつ

令和２年度は、校長先生をはじめ６名の先生方が着任されました。これまで積み上げてきたものに加え新しい風を吹き込ませながら、教職員一同力を合わせ、只見高等学校及び只見町を盛り上げていきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

○伊藤 勝宏（理科）

こんにちは。伊藤勝宏と申します。出身は会津若松で、私の母方の実家が（まだ不通ですが）只見線の会津大塩駅の近くにあります。なので、この地域には思い入れもあり、過疎化する会津を「どぎゃんとせんといかん！」と感じている一人です。これから校長として、皆さんが安心して勉強や部活動に励むことができ、自らの進路実現に全力投球できる学校づくりを進めていきますので、よろしくお願いいたします。

○佐藤 繁（国語科）

本庁企画調整部文化スポーツ局から赴任しました佐藤繁と申します。出身、自宅は若松ですが、高校卒業後、新潟市 10 年、福島市 11 年と長く県庁所在地に住んでいたため、１学年８クラスの大規模校しか勤務経験がなく、さらに団塊 Jr. のロスジェネ世代なので、子供の数がかなり多く、高校時代は 50 人クラスでした…。よって只見での生徒との寮生活や、早速山菜取りに行ったりと楽しんでいます。脆くも近代の弱点が露呈した現況だからこそ、「自然首都只見」の Priceless な価値に感動しています。まさに陶淵明「桃花源記」の世界観、IHTOV、utopia、Shangri-La だと思います。

町からの最大限のバックアップもあり、生徒の皆さんはこのような恵まれた環境での高校生活に大いに自信を持って下さい。日本海側から入広瀬、奥只見、小千谷、山古志、守門、須原等々何度も行きました（八十里越で燕三条へも繋がることを切に願っています）が、福島側は金山までが限界でした。「よそ者、若者（気持ちだけは）、ばか者」として、少しでも地域のため、学校のために尽力する所存です。よろしくお願いいたします。

○湯田 ときえ（国語科）

４月から勤務させていただいております湯田ときえと申します。教科は国語、部活動は剣道部の担当です。私の趣味は「努力している人」を応援することです。これから只見高校の皆さんと楽しく学習、生活できるように頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○根本 修太郎（社会科）

初めまして。南会津高校から参りました、根本修太郎です。教科は地歴公民、３学年の副担任、部活動は野球部の副顧問を担当します。一日でも早く、只見高校と只見町に溶け込んで、力になれたらと思っています。みなさんと一緒に成長していけるよう頑張ります。よろしくお願いします。

○渡部 かなみ（保健体育科）

初めまして。渡部かなみです。３月までは南会津高校で働いていました。教科は保健体育で、部活はバレーボール部の副顧問になりました。学校現場での経験が浅く、只見での生活も初めてで不安も大きいですが、只見高校の皆さんと学校生活がおくれることを楽しみにしていました。年も近いと思うので、気軽に話しかけてくれると嬉しいです。皆さんと一緒に成長していけるように一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。

○佐藤 幹（事務）

初めまして。福島県庁のエネルギー課というところから異動して参りました、佐藤幹と申します。只見町に転勤するにあたり、いろんな方から「雪がすごいぞ！」と言われてきましたが、転勤早々雪に降られ、これからどんな生活が待っているのだろうかといろんな意味でドキドキしているところです。学校勤務は初めてではありますが、皆さんの学校生活が豊かなものとなるよう、精一杯頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。